

水処理センターの役割 ～お風呂やトイレで使った水は どうなるの～

ご家庭のお風呂やトイレで使った水は、下水管に集められ、水処理センター（下水処理場）できれいな水にした後、東京湾や多摩川などに放流しています。

下水の流れるさきは・・・



① 麻生水処理センター
平成元年に運転開始。
麻生区の大部分の下水を分流式で処理し、麻生川に放流しています。



② 等々力水処理センター
昭和 57 年に運転開始。
多摩区全域と中原区、高津区、宮前区、麻生区の下水を分流式で処理し、多摩川と矢上川に放流しています。



③ 加瀬水処理センター
昭和 48 年に運転開始。
幸区、中原区、高津区、宮前区の下水を合流式又は分流式で処理し、矢上川に放流しています。

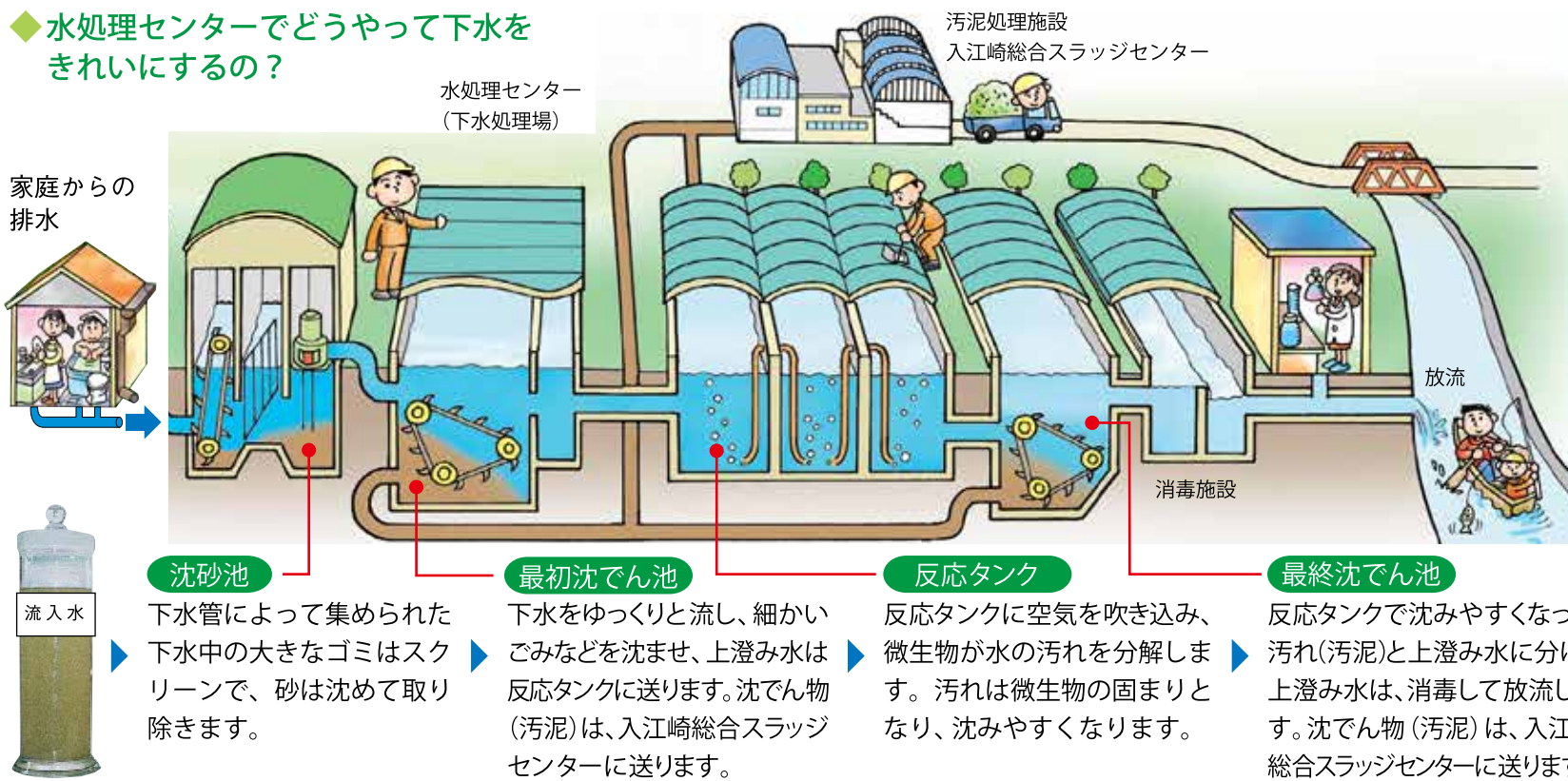


⑤ 入江崎総合スラッジセンター
平成 7 年に運転開始。
市内 4 か所の水処理センターから発生する沈でん物（汚泥）を受け入れ、集約焼却処理を行っています。



④ 入江崎水処理センター
昭和 36 年に運転開始。
川崎区全域と幸区、中原区の下水を合流式で処理し、東京湾に放流しています。

◆ 水処理センターでどうやって下水を きれいにするの？



沈砂池

下水管によって集められた下水中の大きなゴミはスクリーンで、砂は沈めて取り除きます。

最初沈でん池

下水をゆっくりと流し、細かいゴミなどを沈ませ、上澄み水は反応タンクに送ります。沈でん物（汚泥）は、入江崎総合スラッジセンターに送ります。

反応タンク

反応タンクに空気を吹き込み、微生物が水の汚れを分解します。汚れは微生物の固まりとなり、沈みやすくなります。

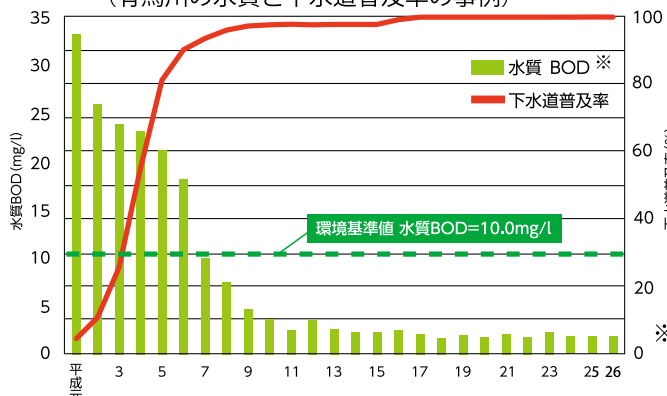
最終沈でん池

反応タンクで沈みやすくなった汚れ（汚泥）と上澄み水に分け、上澄み水は、消毒して放流します。沈でん物（汚泥）は、入江崎総合スラッジセンターに送ります。

◆ 東京湾や多摩川等の水質改善に貢献しています！

平成 26 年度末の下水道普及率は 99.4% であり、下水道の普及とともに、東京湾や多摩川等の水質は改善されてきました。川崎市では通常処理よりもさらに下水をきれいにできる高度処理を推進しています。

下水道の普及による河川の水質改善効果
(有馬川の水質と下水道普及率の事例)



高度処理水を利用している
江川せせらぎ水路



多摩川エコカップいかだ下りの様子

※BODとは、水の汚れを表す指標で、一般的に数値が大きいほど水が汚れており、数値が小さいほどきれいな水と言えます。

高度処理については
また詳しく紹介するよ！

